

## <対策のポイント>

平場・中山間地域にかかわらず、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者等が取り組む高性能機械・施設の導入や集出荷施設等の再編、改植等による高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を全ての農作物を対象として総合的に支援します。

## <政策目標>

- 担い手への集約やコスト低減技術の導入、集出荷施設等の再編合理化により、生産・出荷コストを10%以上低減
- 品質向上や高付加価値化等により販売額を10%以上向上
- 産地の生産力の維持・向上を図りつつ、効率化や省力化技術等の導入により、労働生産性を10%以上向上 [新設] 等

## <事業の内容>

地域一丸となって収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、計画策定経費、計画の実現に必要な農業機械のリース導入、集出荷施設等の整備に係る経費等をすべての農作物を対象として総合的に支援します。

### 1. 生産支援事業 22,990百万円

- ① コスト削減に向けた高性能な農業機械のリース導入・取得
- ② 雨よけハウス等、高付加価値化に必要な生産資材の導入
- ③ 果樹の競争力のある品種について、同一品種での改植 等

### 2. 整備事業 17,010百万円

乾燥調製施設、穀類乾燥調製貯蔵施設、集出荷貯蔵施設、農産物処理加工施設、生産技術高度化施設（低コスト耐候性ハウス等）等の施設整備

## <事業イメージ>

・省力化機械の導入



モノレール



スピードスプレーヤー

・パイプハウスや高度環境制御装置の導入



パイプハウス



環境制御盤

・樹園地の若返りのための植替え（同一品種の改植）



競争力のある品種（例）

【左から、ふじ、巨峰、佐藤錦、不知火(デコボン)】

・高性能機械の導入



GPS自動操舵システム



汎用コンバイン

・効率的な施設整備の推進



集出荷貯蔵施設



選果施設



農産物処理加工施設



低コスト耐候性ハウス

優先枠

- ・ ICTやロボット技術等の先端技術導入〔10億円〕
- ・ 中山間地域の体制整備〔40億円〕

## <事業の流れ>

